

静岡市清水区感染症発生動向

2016年 17週

集計期間 4/25-5/1

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症			1		1									2
咽頭結膜熱					1									1
溶連菌感染症							3	1	2	1	1			8
感染性胃腸炎		3	13	10	7	11	8	8	14	3	4	7	1	1
水痘														90
手足口病			1											1
伝染性紅斑		2	5	2										9
突発性発疹														
百日咳														
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎				1					1			1		3
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ														
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu			1				1		4	1	1	2		10
小児科定点総数 124 増減 5 前週比 104.2% 定点当たり 20.7 病院:開業医 7:117 増減 -1:+6														
内科Flu														
インフルエンザ総数 10 増減 5 前週比 200% 定点当たり 1.1 小児科:内科 10:0 増減 +6:-1														

総数124、前週の104.2%と横ばいです。

首位は、感染性胃腸炎、前週比95.7%、定点当たり15ですが、口夕は多いです。

2位は、インフルエンザ、前週比250%、定点当たり1.6と、残っています。

3位は、突発性発疹、前週比225%、定点当たり1.5で、流行中です。

最近、突発性発疹、以前に比べ、高年齢化し、四月に多いと感じています。

これは、兄弟が少なくなり低年齢から集団生活が始まるようになったためでしょうか？

4位は、溶連菌感染症、前週比61%、定点当たり1.3で、流行中です。

以下は、定点当たり1未満ですが、流行性耳下腺炎が3名、RSが2名、hMPV2名、そして、アデノと手足口病も1名ずつ報告です。

内科も含むインフルエンザ、前週比200%と増加、9定点中3定点から報告です。

小児科定点、B型のみ10名、内科定点、0名です。B型は、局所で小流行がみられます。

5/1小児科休日当番は、来院者72名、インフルエンザB型1名、胃腸炎13名、

溶連菌3名とご報告いただいています。連休の最中としては、落ち着いた状況です。